

福岡県内の下水道担当職員による情報ネットワーク

第8回「とびうめ下水道場」の開催について（報告）

- 日時：平成31年 1月23日（水） 13:00～17:00
- 場所：日明浄化センター（北九州市小倉北区西港町96-3）
- 参加：福岡県内 21自治体、41名
- 主催：福岡県，北九州市，福岡市
- 共催：福岡県下水道協会
- 活動：開催は2回/年程度
他自治体担当者と情報提供，情報共有，意見交換 など

○会議次第

1. 開会挨拶

北九州市 上下水道局 下水道計画課長 持山 泰生

2. 施設説明・見学

日明浄化センター 「ビジターセンター見学」

3. 基調講演

「下水道分野の国際展開について」

国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部
下水道企画課 国際展開推進係長 伊藤 智則

4. グループディスカッション

「浸水対策の進め方について」

5. 情報提供

「北九州市の浸水対策の概要」

北九州市 上下水道局 下水道計画課 主任 福原 徳一郎

6. 講 評

福岡県 建築都市部 下水道課長 鴨打 章
北九州市 上下水道局 下水道計画課長 持山 泰生
福岡市 道路下水道局 計画部 下水道事業調整課長 原口 明

7. 閉会挨拶

福岡市 道路下水道局 計画部 下水道事業調整課長 原口 明

下水道場とは・・・

『下水道関係の若手職員が抱える業務上の課題等を議論し合い，若手職員の組織の枠を超えた自己研鑽・切磋琢磨』を目的とし，
国土交通省が全国の下水道若手職員による情報ネットワークとして平成24年9月に設立。

「下水道場」の地方版として，「とびうめ下水道場」を平成27年6月に設立。

【とびうめ】  の意味

福岡県の花で大宰府天満宮の神木として有名であり，また

『この道場で議論されたことが全国で広がり，そこで花を咲かせるように』

【1. 開会挨拶】

第8回目の「とびうめ下水道場」は、北九州市の日明浄化センターを舞台に行われました。最初に、21自治体、28名の参加者を前に北九州市の持山課長から開会の挨拶がなされました。



北九州市持山課長による開会挨拶

【2. 施設説明・見学】

日明浄化センター ビジターセンター

日明浄化センター内のビジターセンターにて、下水道事業のPRを目的として設置されたミュージアムエリアの見学を行いました。

本施設では、最新のプロジェクションマッピング技術を用いたジオラマシアターや体験展示施設等により、北九州市の下水道事業について説明が行われました。



ジオラマシアターによる事業説明の状況

【3. 基調講演】

施設見学後、国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課の伊藤係長様より「下水道分野の国際展開について」として、海外の下水道市場、海外展開に係る取組方針や、自身の下水道事業の経歴等について基調講演が行われました。



国土交通省伊藤係長様による基調講演

【4. グループディスカッション】

約5名ずつの6班に分かれて実施し、設定された検討項目に対し、活発な議論が飛び交いました。議論の内容について、各班の代表者が発表を行いました。

課題

局所的、集中的な豪雨に対して、短期間で、浸水被害の軽減に向けた有効な対策として何が考えられるか。

各班から出た主な意見

Q1 ハード面からの方策について

- ・ 浸透型側溝の設置
- ・ ポンプ施設の改良
- ・ 水路や調整池の浚渫
- ・ 土のうの配布
- ・ 仮設ポンプの導入
- ・ 遊休地の活用 など

Q2 ソフト面からの方策について

- ・ ハザードマップの配布
- ・ 広報誌による住民啓発
- ・ SNS の活用による住民周知
- ・ 避難訓練の実施
- ・ 出前講演による住民への情報提供
- ・ 広報車の利用 など

【5. 情報提供】

グループディスカッションの後、北九州市の福原氏より「北九州市の浸水対策の概要」について情報提供をいただきました。



グループディスカッションの様子



代表者による発表



北九州市福原氏による情報提供

【6. 講評】

福岡県穂積係長、北九州市持山課長、福岡市原口課長の3名から、グループディスカッションについて講評をいただきました。

このディスカッションを通して学んだことを、各自治体が進める今後の浸水対策に活かしてほしいなどの助言をいただきました。



講評の様子

【7. 閉会挨拶】

最後に、次回の開催自治体の福岡市の原口課長より、今後の「とびうめ下水道場」の更なる活性化を祈念した閉会の言葉にて、第8回とびうめ下水道場が閉幕しました。



福岡市原口課長様による閉会挨拶